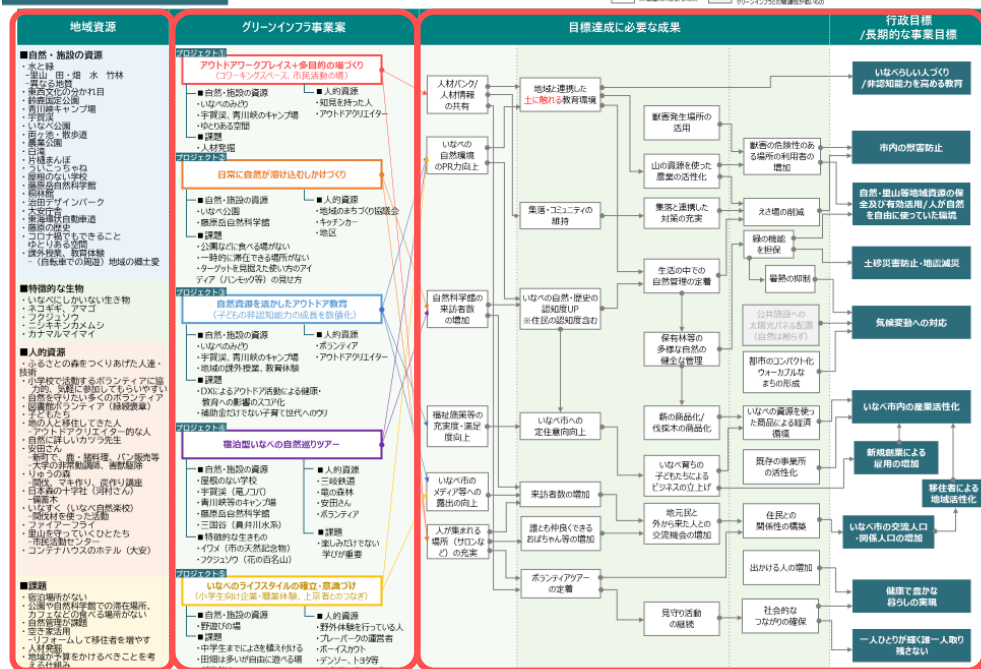


実施概要

- ロジックモデルの作成にあたって、①地域資源の把握、②目指すべき目標の設定、③その目標実現に向けた取組、の3段階でワークショップを実施。
- ワークショップは2班に分かれて実施

成果例

WS③ ワークシート(グループB)



第1回WS

第3回WS

第2回WS

ワークショップのステップ

- 第1回 グリーンインフラを展開する上で活用できる地域資源
- 第2回 グリーンインフラの展開により目指す長期的な目標とその達成のために必要となる成果
- 第3回 成果を出すために必要な事業の結果

課題

●実施目的・内容の理解促進

- 「ロジックモデル」の全体像と各回の論点を理解いただくことが重要。
- 課題からの積上げだけでなく、目指す姿からバックキャスト的に必要な取組に対して意見交換を行う考え方の転換を意識的に促すことが重要。(ロジックモデルに対する理解)

●ファシリテート上の課題

- どういった成果ができればよいかといった質問に対して、取組や地域への課題を意見する人が多い。こうした意見を拾いつつ、その先にどうなっていればよいかなど、成果につながる意見を促すファシリテートが重要

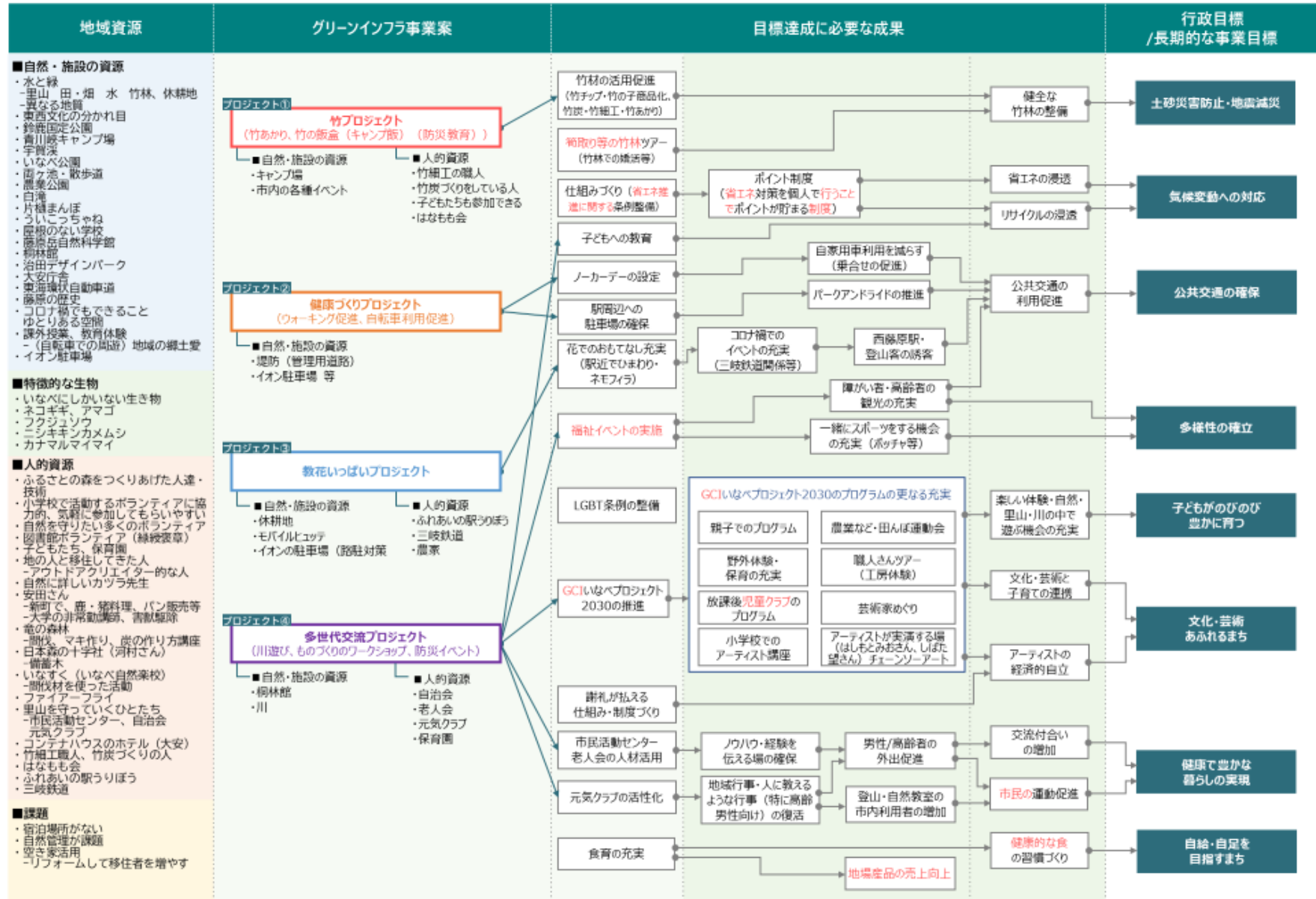
●具体的な実装

- アイディアレベルの整理となるため、実装に向けては、担当課等を含めた実現性や実施主体、実施方法等を検討していくことが重要。

WSによるロジックモデルの整理 成果（グループA）

WS③ ワークシート（グループA）

□ 目標達成に必要な成果 □ 成果として意見があったが、グリーンインフラとの関連性が低いもの



WSによるロジックモデルの整理 成果（グループB）

WS③ ワークシート（グループB）

□ 目標達成に必要な成果 □ 成果として意図があったが、クローンアップなどの関連性が認められず

